宮城県
Miyagi Prefectural Government

令 和 7 年 7 月 18 日

医療機関の皆様へ

侵襲性髄膜炎菌感染症に御注意ください

県内において、侵襲性髄膜炎菌感染症の届出がこの2か月間で3件確認されております。
全国的にも報告数が増加しており、県内においては感染連鎖が存在する可能性もあることから注意が必要です。

髄膜炎菌(*Neisseria meningitidis*)は、患者や保菌者からの飛沫感染で伝播します。髄膜炎菌による化膿性髄膜炎(侵襲性髄膜炎菌感染症)は大規模な流行を起こす可能性があり、過去には国内で複数の集団発生もみられています。発症すると 24～48 時間以内に急速に進行し、重症化する場合(Waterhouse-Friderichsen 症候群)もあることから、患者が1例発生した場合でも速やかなアウトブレイク対応が必要となります。

医療機関の皆様におかれましては、地域での同感染症の早期発見・感染拡大防止のため、下記の対応について御配慮いただきますようお願いいたします。

○ 髄膜炎症状を呈する者がいた場合は、**髄膜炎菌(*Neisseria meningitidis*) を病原体鑑別**に追加願います。

○ 診断した場合は、直ちに、最寄り保健所・支所まで届出をお願いします。
感染が疑われる者がいた場合は、速やかに最寄り保健所・支所まで情報提供願います。

○ 濃厚接触者、ハイリスク者に対しては、抗菌薬予防投与を御検討ください。

【過去5年間から現在までの侵襲性髄膜炎菌感染症の報告件数】*令和7年は7月16 日時点

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
宮城県	1	0	0	0	1	**3**
全国	14	1	8	21	66	55

＜参考＞

厚生労働省ホームページ「侵襲性髄膜炎菌感染症」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000137555_00002.html

国立健康危機管理研究機構「侵襲性髄膜炎菌感染症発生時対応ガイドライン【第二版】」
https://www.mhlw.go.jp/content/imd-guideline-20250328.pdf

一般社団法人 日本感染症学会「侵襲性髄膜炎菌感染症」
https://www.kansensho.or.jp/ref/d37.html

宮城県疾病・感染症対策課
感染症対策第一班
住　所　仙台市青葉区本町３丁目８－１
連絡先　０２２－211－2632